

## 大槌発

### 「慰霊の場」整備



東日本震災で1200人を超える犠牲者が出た大槌町に、新たな供養施設が作られます。町の基本構想では城山地区にある中央公民館の一面に新たな施設『慰霊の場』を整備する計画です。

震災犠牲者の名前を刻んだプレートや祭壇、身元不明者80人の遺骨を納める納骨堂などが備わった屋外型の施設を整備する予定です。今年の11月に着工し、震災4年目を迎える来年の3月11日までの完成を目指しています。(7/3 ニュースエコー)

## 陸前高田発

### クラシックコンサート



陸前高田市でクラシックコンサートが開かれ、小学生や保育園児たちがプロの演奏を楽しみました。コンサートは「クロネコヤマトの宅急便」でおなじみの「ヤマトホールディングス」が、良質な音楽に親んでもらおうと各地で開いている『音楽宅急便』の一環として開催され、指揮者の飯森範親さんと山形交響楽団のメンバーが演奏を行いました。会場の矢作小学校体育館には、全校児童に加え、近隣の保育園児や、仮設住宅に暮らす人などおよそ120人が集まり、プロの演奏家が奏でるクラシックの名曲の数々を満喫しました。(7/4 ニュースエコー)

## 宮古発

### 高台移転・現場見学会

宮古市田老地区で高台移転先の現場見学会が行われました。田老地区では乙部地区の高台に戸建と災害公営住宅合わせて300戸近くの宅地



が、来年9月の完成予定で造成されています。現場では宅地の一部が姿を見せ、240人あまりの参加者は新しいまちのイメージを膨らませていました。(7/6 ニュース)

## 野田発

### 復興応援サッカー教室

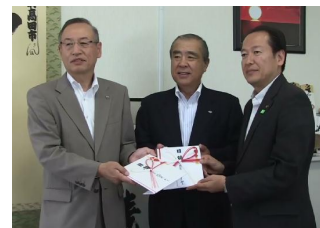
被災地の小学生にサッカーの楽しさをもっと知ってもらおうと、野田村で復興応援のサッカー教室が開かれました。キリングループが行う



復興応援の「キリン絆プロジェクト」の一環です。サッカー元日本代表の小村徳男さんがコーチとして野田小学校を訪問し、6年生の児童37人に指導しました。あこがれの元日本代表と一緒に汗を流した子ども達は、笑顔でサッカーを楽しんでいました。(7/7 ニュースエコー)

## 陸前高田発

### 一本松保存基金に寄付



大船渡に本社を置くスーパー「マイヤ」と「純情米いわて」が協力して、気仙地域で収穫された米を販売した売り上げの一部108万円を『奇跡の一本松・保存基金』に寄付しました。

今年春マイヤで販売された「奇跡の一本松・ひとめぼれ」は気仙地域で生産された10キロ入りの米で、540袋を売り出し販売しました。両社では稲作農家と、『一本松の保存』を支援するこの取り組みを来年も行うことにしています。(7/8 ニュースエコー)

## 宮古発

### さんりく元気ラジオ

(ワイドステーション内毎週水曜日放送)

今週はみやこハーバーラジオの箱石文彦さんが、7月21日の「海の日」に行われる「宮古港カッターレース」について伝えてくれました。このレースは昭和54年から行われていますが、震災後は2回目の開催となります。全長9mのボートに14人が乗り込み、往復600mのコースでタイムを競います。今年は宮古水産高校の生徒や地元警察、消防署のチームなど18チームがエントリー、最年長は71歳の選手だそうです。箱石さんは「当日はぜひ宮古に応援しにきてください!」と話していました。

(7/9)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中  
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibt.co.jp/>  
IBC復興支援室事務局 019-623-3122